

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 8 年 4 月 1 日

所在地 山梨県富士吉田市下吉田 2-25-24
企業名 株式会社 前田源商店
代表者 代表取締役 前田 市郎

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

弊社の経営理念である「ひとにやさしい、地球にやさしい、ものづくり」は、SDGs の達成と軸を同じくする考えであり、社員一人ひとりが、この経営理念を念頭に事業活動に取り組むことにより、SDGs の達成に貢献していきます。

3 側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日：令和 5 年 4 月 1 日	
✓環境 □社会 ✓経済	フェアトレードで環境負荷の低いオーガニックコットン製品の製造販売	NOC 貧困救済基金への寄付を 2023 年が 100% とした場合 2030 年には 150% とする。	オーガニックコットン原糸の仕入れが昨対比 10%UP したので 2023 年と比較して 120%UP した。	(進捗率) 60%
□環境 ✓社会 □経済	誰にでも安心して使える製品作り	2030 年までにジェンダーフリー製品の開発を 50 点行う。	下着を中心にさらに 6 点開発した。	(進捗率) 48%
✓環境 ✓社会 □経済	再利用の梱包資材を積極的に使う事により CO2 の排出量の削減を目指す。	排出される CO2 排出量の低減 (2023 年) → 2030 年には 2023 年比で 10%削減	出荷用資材の 60% を再利用の箱等でまかなってきた。	(進捗率) 45%

2030 年の目指す姿

弊社では環境負荷の低いフェアトレード品であるオーガニックコットンの生地の生産をはじめ、製品の開発・販売を行っており、地場産業としての織物を継承してくとともに、地域のハタヤと継続的な関係を続けていくことで、地域に根差し、地域社会に貢献していく会社を目指すのと同時にフェアトレードを通じてオーガニックコットン生産者の貧困救済活動 (NOC 貧困救済基金への寄付) を行って行く。さらに梱包資材等を再利用することにより CO2 の排出量の低減を図る。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第3号）「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」（要件2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の **3 側面の全てについて** 重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。